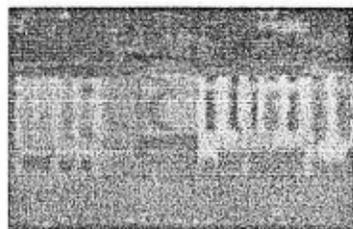


しんきろうのすがた

しんきろうには、おもに春に見える「春のしんきろう」と、秋から冬にかけてよく見える「冬のしんきろう」がありますが、ここでは春のしんきろうのすがたについてお話しします。

春のあたたかくて、風があまりない日、海にいくと、右の写真のようなしんきろうを見ることがあります。これは富山市の海から魚津の方向に見えたしんきろうです。



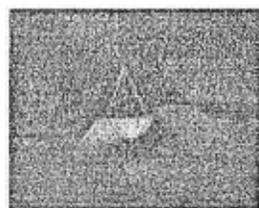
しんきろうのすがたは大きく三つに分けられます。これらを船の絵と、写真をつかって見てみましょう。

ちぢんだしんきろう

いつものけしきが、ちぢんで見えるしんきろうです。もとのようすをよく見ていないと見つけにくいものです。

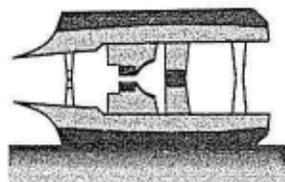


ちぢんだ船

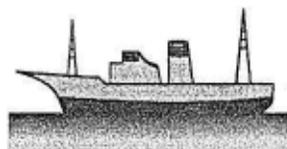


さかさのしんきろう

いつものけしきの上に、さかさまのけしきが見えます。ふつうはこれを「春のしんきろう」といいます。



さかさの船



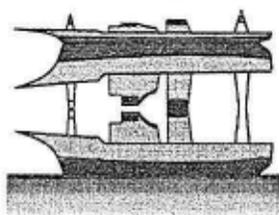
もとの船



もとのようす

さかさのしんきろうとその上のちぢんだしんきろう

いつものけしきの上に、さかさまのけしきが、さらにその上にちぢんだけしきが見えます。あまり見ることのない、めずらしいしんきろうです。



さかさの船と、ちぢんだ船



このようにいろいろなすがたになるのは、海から数十メートルの高さまでの気温のかわりかたのちがいによります。

ことしの春はどんなしんきろうが見えるかチャレンジしてみてください！！

吉村 博儀